

—表紙寫眞説明—

大阪水陸聯絡線
天保山運河橋梁徑間
78呎1連、30呎2連

本橋梁は關西本線今宮驛起點三哩三八鎖七
六節の地點天保山運河に架設せられたる昇降
橋徑間七十八呎一連、其の前後三十呎下路鋼
鈑桁二連、單線軌道にして、橋臺は基礎杭打
工、軀體コンクリート工、橋脚は樁圓形鐵
筋コンクリート井筒（長徑二十五呎、短徑
十六呎、川底以下約七十八呎沈下）基礎にし
て、軀體はレコンクリート造ります。

本橋梁は常に上昇せるを定位し、列車の
通過に際し下降せしむ。本運河通航の船舶は
概ね小蒸氣船並に比較的船足し淺きレシマ
船にして、其通航頻繁なるも大なる昇降距離
を要せざるに依り其の昇降の高さは九呎三吋
にして通常満潮面上約十二呎、干潮面上約十
八呎の空頭を有す。

工事費概算

請負工事費	五四、〇一七、七五〇
支給材料費其他	二二、八五九、〇〇〇
鐵 桁 費	(電動機費を含む)
	三三、八二五、五〇一
桁 架 設	(レールロッキング) 据付其他)
	一八、二八六、〇〇〇
計	一一八、九八八、二五一
	(鐵道省大阪改良事務所長) 木村芳人氏稿

**神戸市都市計畫第二
期事業高松橋（舊名
運河第一橋）工事**

位 置	神戸市高松町東尻池町を連絡する路線中運河を横断する個所
工 事 費	397,500 圓
内	橋脚並に橋臺工事費 142,600 圓
	橋桁並に機械工事費 254,900 圓
工 事 期 間	昭和2年6月着手 昭和3年10月完成（約50日）
勞 力	職工、工夫、人夫、延 43,126 人
東岸跳上可動部	有效橋幅 18.18米、徑間 18.18米 跳上部面積380平方米 17 分20秒 跳上所要時間 1 分20秒 開閉に要する電力 1.7 キロワット時
動 力 機 械	電動機75馬力 一臺 豫備電動機75馬力 一臺 豫備ガソリン發動機30馬力 一臺
工 事 關 係 者	設計 増田淳 施工監督 神戸市都市計畫部 橋臺橋脚土木工事 大林組 鐵桁並に機械設備工事 神戸三菱造船所 (神戸市都市計畫部長) 森垣龜一郎氏稿